

一般財団法人 山岡記念財団

# 第7回 科学技術講演会

持続可能な社会を目指した森林と人との共生に向けて



Rudolf Diesel

Mogekichi Yamaoka

## A SUSTAINABLE FUTURE

テクノロジーで、新しい豊かさへ。

参加費  
無料

※要事前申込

日英  
同時通訳

2024年 **10月21日**(月)

16:00~19:00 **定員数** ▶会場 80名 ▶オンライン 500名

ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

オンライン講演 (ZOOM) 同時開催

お申し込み方法

山岡記念財団ホームページよりお申し込みください。  
<https://yamaoka-memorial.or.jp/event/2024/1021-01.html>

申し込み締切: 2024年10月18日(金) 11:00 a.m.迄。



SDGs 未来杜市「真庭」の挑戦  
~多様な地域資源を生かして~

**太田 昇**

Noboru Ota

岡山県真庭市長



持続可能な  
森林の管理・運営の取組み

**オラ・リンドルス**

Ola Lindroos, Ph.D

スウェーデン農業科学大学 (SLU)  
森林管理学教授

主催 一般財団法人 **山岡記念財団**

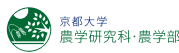
〒530-0013

大阪市北区茶屋町1-32 YANMAR FLYING-Y BUILDING

Tel: 06-7636-0219 Fax: 06-7636-0212

E-mail: yamaoka-memorial@yanmar.com

共催



後援



一般社団法人 大阪日独協会



## 講演会の目的

本科学技術講演会では、2015年9月に国連で採択された持続可能な開発のための目標（SDGs）達成にむけた17の課題から、地球温暖化防止に関係が深い「再生可能エネルギー」また「食と農業のありかた」をテーマとして、それぞれ3回にわたり日独有識者を招いて講演会を行ってきた。本年度は、「森林と人との共生」をテーマとし、日本とスウェーデンの講師による基調講演、パネルディスカッションを通じて、地球規模の課題である森林と人類の共生のありかたについて、将来を担う若者たちを中心に活発な意見交換がなされることを期待する。

## 講演者紹介



### 太田 昇

岡山県真庭市長

- 1975年3月 京都大学法学部卒業
- 1975年4月 京都府就職（土木建築部住宅課）
- 1993年4月 京都府総務部地方課参事
- 1996年7月 京都府総務部財政課長
- 2000年4月 京都府総務部理事（財政課長事務取扱）
- 2001年4月 京都府知事公室職員長（人事担当部長）
- 2002年6月 京都府知事室長
- 2006年6月 京都府総務部長
- 2010年5月 京都府副知事
- 2013年2月 京都府副知事辞職
- 2013年4月 真庭市長就任
- 2017年4月 真庭市長就任（2期目）
- 2021年4月 真庭市長就任（3期目）

#### 講演要旨

#### SDGs 未来杜市「真庭」の挑戦～多様な地域資源を生かして～

岡山県真庭市は面積（828 km<sup>2</sup>）の8割が森林で、林業・木材業が盛んであり、副産物の木質バイオマスの利活用を官民連携で推進しています。地域資源循環型の取組が評価され2006年バイオマスタウンの選定に始まり、2014年にはバイオマス産業都市へ、2018年にはSDGs未来都市に、さらに2022年には脱炭素先行地域に選定され、持続可能な社会の実現に向けた取組を続けています。また、近年では生ごみ分別・資源化による、暮らし循環の仕組みの本格化や森林・木材・木造建築に関する知見・技術の教育・研究拠点の創出などに取り組んでおり、その状況について紹介します。



### オラ・リンドルス

スウェーデン農業科学大学（SLU）  
森林管理学教授

- 2010-2014 ポストドクおよび客員研究員、オーストリア国際応用システム分析研究所（IIASA）
- 2011 SLU 准教授
- 2012-2015 International Journal of Forest Engineering 編集長
- 2015-2024 (IUFRO)第3部 副コーディネーター
- 2016- SLU 教授
- 2019-2024 IUFRO ワークグループ 3.10、森林ロボット工学およびデジタル森林管理のコーディネーター
- 2019-2024 SLU 森林科学学部副学部長、学部および大学院教育担当
- 国際森林研究機関連合（IUFRO）第3部 森林経営工学および経営管理の共同コーディネーター

#### 受賞歴など

- 2011 王立スカイテアン協会賞受賞  
SLU 森林科学部の顕著な若手研究者として受賞
- 2014 SLU 教育賞受賞 教育と指導における個人の模範的な取組みに対し受賞
- 2015 FORMEC シンポジウム（オーストリア）最優秀論文賞受賞
- 2017 2017年度 スウェーデン王立農林アカデミー博士論文賞の主任指導教授として受賞

#### 講演要旨

#### 持続可能な森林の管理・運営の取組み

森林は地球の陸地面積の3分の1を占め、バイオエコノミーへの移行、気候変動との闘い、生物多様性の保全など、地球規模の課題に取り組む上で極めて重要な役割を果たしています。持続可能な未来のために、人類と地球は欠くことのできない恩恵を森林から享受しています。しかし、森林を利用し、回復し、保全するという、膨大で、しばしば対立する施策を、バランス良く進めることはとても重要な課題です。持続可能性に対する状況や認識は、地理的条件や時代によって異なるため、これに影響されて、森林の管理方法は世界中で大きなばらつきが生じてきました。この講演では、持続可能な森林の管理・運営を目指した様々な取組みについて、特にスウェーデンの森林管理方法に焦点を当てて紹介します。

## 一般財団法人 山岡記念財団 とは

ヤンマー創業者である山岡孫吉は、ドイツのルドルフ・ディーゼル博士が発明したディーゼルエンジンの小型実用化に成功し、世界中にディーゼルエンジンを普及させました。そのため、ヤンマーグループは、創業以来、ドイツの技術・文化への感謝の気持ちを継承し続けています。この感謝の念にもとづき、山岡記念財団は、日本およびドイツ両国の文化交流を通し、社会の持続的な発展に寄与することを目的としています。

【会場】

## ゲーテ・インスティトゥート・ヴィラ鴨川

〒606-8305 京都市左京区吉田河原町19-3

【アクセス】

- JR京都駅より～（所要時間 約30分）  
市バス4、17、205番「荒神口」下車、徒歩5分  
京都バス17番「荒神橋」下車、徒歩2分
- バス停「四条河原町」より～（所要時間 約15分）  
市バス3、17、205番「荒神口」下車、徒歩5分  
京都バス16、17番「荒神橋」下車、徒歩2分
- 京阪電車～  
「神宮丸太町」下車（5番出口）、北に徒歩6分  
「出町柳」下車（2番出口）、南に徒歩8分

